

ささぐり

# GIKAI

No.158 平成21年2月1日発行

# ジャーナル



平成20年・12月議会号

懸案の道路整備に着工!!	14
旧たけのこ児童館を発達障がい児センターへ	2
高齢者送迎の車を購入	2
どげんするとなあ?	5
読みやすい議会広報へ	15

# 発達障がい児センターへ



旧たけのこ児童館

今まで篠栗町では、オアシス篠栗で\*発達障がい児の療育通園事業として、母子通園・単独通園・個別療育をそれぞれ週1回行ってきました。相談指導や言語訓練を事業内容に加えたり、定員・回数が増加などの要望も保護者から出ています。現在は待機児童もいます。

オアシスでは他の事業も多く、余裕がありません。そのため現在利用していない尾仲区の旧たけのこ児童館を改修し、発達障がい児支援センターとします。現在福津市の昭和学園で行っている児童デイサービスもこのセンターで行います。  
設計料も含め約1058

万円の補正予算で、約半分は国からの交付金を活用します。

**\*発達障がい**  
自閉症・学習障がい・注意欠陥多動性障がいなどの主に乳幼児期に現れる発達障がいです。児童・生徒の約6%と高い割合で通常学級に在籍しているといわれています。全般的な知的障がいではなく、特定課題の解決や集団行動ができず、コミュニケーションがうまく取れないなどの共通点があります。  
平成17年に「発達障害者支援法」が施行され、早期発見と発達支援について国と自治体の責務が示されています。学校教育での支援・就労の支援・支援センターの指定などが定められ、発達障がい者の自立や社会参加のため生活全般への支援を図ることが目的です。18歳未満を発達障がい児としています。



高齢者用送迎車

## 高齢者送迎の車を購入

特定（虚弱）高齢者が要支援や要介護者になるのを予防するため、オアシス篠栗で「シニアはつらつセミナー」を行っています。65歳以上で筋力が低下された方の筋力アップトレーニングです。

20年度は25人ほどで週3回でした。21年度は人数が倍増します。篠栗町は健康な高齢者が増えています。

20年度は25人ほどで週3回でした。21年度は人数が倍増します。

# 旧たけのこ児童館を発

## 12月定例会 日程 12/11~19

町長選挙後はじめての町議会が開かれました。条例改正・制定5件、指定管理者指定1件、規約変更など5件、補正予算2件、選挙案2件が上程され、全て全員賛成で可決・選出しました。また今回提出された請願1件と9月定例会で継続審査にしていた請願1件は、賛成多数または全員賛成で採択しました。



蒲田池

### 町道和田線の測量

「篠栗九大の森」(仮称)として九大演習林蒲田池周辺を整備します。それに伴う遊歩道設置のため、和田線の現況を測量します。補正予算額は100万円です。

補正予算の主なものは以上です。総額は2212万円の増額です。  
(補正予算は  
全員賛成可決)

### 出産育児一時金 38万円へ

今まで国民健康保険加入者の出産に対し35万円の出産育児一時金が支給されてきました。

脳性麻痺産科医療保障制度が今年1月から始まり、これに加入の分娩機関で出産のときは、3万円を上限として加算します。  
(全員賛成可決)

### 町長などの給与減額 23年3月まで継続

町長10%、副町長・教育長5%の給与減額を昨年11月の町長任期まで行っていました。今回、平成21年1月から23年3月まで同額の減額を継続します。

これにより給料月額は3人で約14万7千円の減額になります。また、期間末までの人件費総額は、575万円ほどの削減効果が見込まれます。  
(全員賛成可決)

### 社協が5年間継続 天空会館の指定管理者

#### 天空会館の指定管理者

町立葬祭場天空会館の指定管理者は、この5年間社会福祉協議会が行ってきました。平成21年度から25年度までの5年間、新たに継続して指定管理者とします。

社協職員の育成や教育5年間の妥当性などの質疑が出ました。  
(全員賛成可決)

審議の中で、公募の有無、社協を指定管理者に再指定する理由、

**\*指定管理者制度**  
自治体が住民の福祉増進を目的に設置した施設(公の施設)を、民間事業者・団体などを指定して管理運営させる制度

請願

国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める請願

反対討論

後藤百合子

請願者  
粕屋地区社会保障推進協議会  
会長 三野原 厚  
紹介議員 永柄 邦彦  
村嶋 秀樹  
(賛成多数採択)  
賛成9 反対2

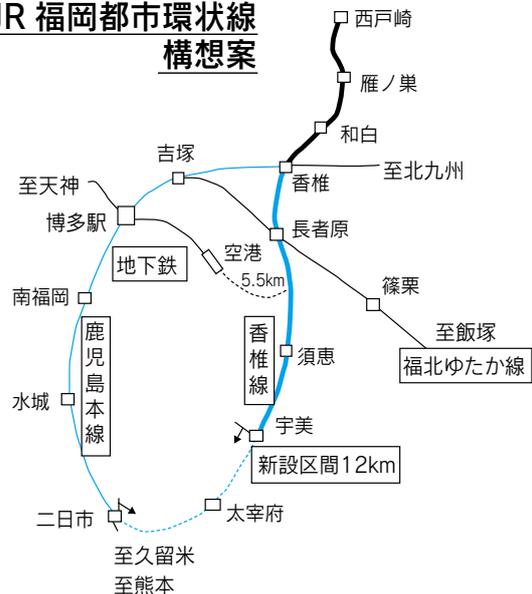
59年度に、国は国保財政の厳しい中、皆保険を維持するため45%から38・5%へ下げました。その一方で医療費の適正化、制度の見直し、負担の公平化を3本柱に制度全般の改革を行いました。薬価基準の引き下げ、被用者保険の本人負担の導入等を行い今日に至っています。

それを24年前の45%に戻すのは不可能なことです。財政悪化の原因も請願の趣旨どおりではありません。こういった改革が必要かなども示されていません。戻すだけで問題解決するとは思えません。当時と今日の時代背景も大きく違います。

JR香椎線(西戸崎〜宇美)の電化・複線化の請願

請願者  
JR香椎線の電化・複線化建設を実現する会  
代表 大音 重親  
紹介議員 永柄 邦彦  
草場 謙次  
(9月議会で継続審査)  
全員賛成採択

JR 福岡都市環状線構想案



# どげんするとなあ?

12月15日、10人の議員が一般質問をしました。今回は町長選挙のマニフェストに対する質問が多かったようです。

## 有吉 武喜



### 遺贈者の供養は

町長 『手続きが終了して』

問

町の発展や成長のためには、異論が大切です。お互い町のためになることから、意見とか異論を唱えることもございます。

9月議会で遺贈者ほか2名の永代供養についてお尋ねいたしました。まだ終わっていないようですが、どうなっていますか。

遺贈金6千万円は6月に弁護士事務所を経由して、基金として積み立てしてあります。

遺贈者の位牌は4年経過しても、まだ後見人宅に仮安置された状態です。これでは篠栗町が笑われます。

遺贈者に対して感謝の気持ちがあるのであれば、一日も早く供養するのが礼儀だと思います。

八代のお寺の方に供養してもらおうことを希望されています。できればそのようにお願いたします。

答

遺贈者の意思をくんで、篠栗町福祉事業基金を活用することが、何よりの供養と想っています。

本件については、もともと秋にはいろいろな手続きが終了して、本定例会で補正予算を組む予定にしていますが、法的手続きが終了していません。

現在、裁判所への後見終了報告について、家裁から後見人に報告書の提出を求めています。その処理も近々終わると思います。

手続きが終了した段階で議会の承認をいただき、何らかの供養をしたいと考えています。

## 今長 谷透



### カブトの森を基点に ウォーキングコースを

町長 『安全な遊歩道の整備を検討』

問

健康増進法に基づき、12のウォーキングコースの設置や心の癒しを求めた環境づくりのための森林セラピー基地の申請など積極的に行われて、町民から高く評価されています。

しかし、これらの設置場所は山間部に多く、日常限られた時間で運動するには不便です、と町民の声を聴きます。特に、勢門校区住民の動向は、隣の町の池沿いにある施設に多く行かれています。

そこで、わが町にもカブトの森という運動施設があり、周辺の県道や町道を活かしたウォーキングコースづくりを考えてはいかがかかと思えます。町長の考えをお聞きます。

答

平成19年7月から開始したエコウォークの全コースを紹介する体験イベントには、町内外から多数の参加があり健康増進や篠栗町を再認識してもらいました。

今後、森林セラピー基地の設置などを考えると、より充実したコースにするため、既存のコースの存廃も含め新しいコースの設置などともに見直していく必要があると思います。

提案のカブトの森公園は年間約8万1千人の利用があり、ここを基点に乙犬三段池方面へのウォーキングコースは日常的な健康づくりとして大いに有用と考えます。現地を踏査して安全確保ができる遊歩道の整備を検討します。

松田 國守



## マニフェストの農業施策を問う

町長 『調整役を町が担う』  
『学校給食に篠栗産米を』

問

日本の農業は危機に瀕しております。農家では、高齢化による担い手不足が深刻化し耕作放棄の拡大にも歯止めがかかりません。食料自給率も4割を保つのがやっとであります。

そうした中、世界規模で発生する異常気象により、計画的な食料生産にも黄信号が灯りはじめておるようです。

なお、WTOの新多角的貿易交渉は、世界大不況のあおりを受け長期凍結となり、日本の農業は厳しい状況が続きます。

このような世界情勢の中、今こそ国を挙げて国内農政の抜本改革が急務であります。

町長はこのたびの選挙で6つのマニフェストを掲げてあります。その1つに農業自給率アップと地産地消を目指すとあり、農事組合法人との連携を強化し、

農業の活性化を公約されております。生産農家はもとより、広く期待が寄せられておるところであります。そこで、これらの実現に向けてどのような具体案があるのかお尋ねします。

答

農業の担い手を確保することが、農政が取り組むべき最重要課題です。

集落ぐるみの組織を立ち上げ、土地、労働

力、機械施設の生産要素を効率的なものに組み換えたいと思います。経営体として集落を活用し、農地を集積して土地利用型の農業に変わらせていかなければならないと思います。

今後、安定的な組合運営により収益が上がるよう、各方面への調整役を町が果たさねばならないと考えています。

なお、地産地消を推進する上で、生産者、農協、商工会、地元消



農業法人の作業風景

1期4年、「協働のまちづくり」をメインテーマとして取り組んでこられました。また、住民の声は議会を通して、あるいは各種団体及び行政区に赴くなどして直に住民の声に耳を傾け町政に反映されてまいりました。

2期目のスタートにあたり、町長として町民の皆さんにどんな期待をされるかお尋ねします。

「協働のまちづくり」  
町民への期待は『積極的な行政参画を』

費者、さらには学校給食など、農産物の循環ができるよう各方面との具体的な打ち合わせをしています。篠栗産の米や野菜を使った学校給食を、21年1月か

ら試験的に実施する運びです。これが地産地消のシステム構築の先駆けとなればと考えています。

問

答

住民の皆様が期待している行政を実現していくために、これからも皆様と一緒にまちづくりをしていきたいと考えています。

行政からも積極的に情報の提供やご意見を伺ってまいります。住民の皆様にも積極的に行政にかかわっていただくよう、切に願っています。

# 阿部 寛治



## 新型インフルエンザへの町の危機管理は

町長『危機感を持って迅速に対応』

問

世界中が飛行機で結ばれている現在、数日で世界同時に大流行するのではと懸念されている新型インフルエンザ。最悪の場合国民の4割が感染のため、仕事に支障をきたし、スーパーやコンビニも営業できなくなり、電気、ガスなどのライフラインの機能低下も心配されます。そうなった場合、

①役場内での危機管理対策はどうしていますか。

②備蓄しているもの、あるいは備蓄計画はありますか。

③医療機関と連携の具体的な対策はどうしていますか。

④小中学校への対策はどうですか。

答

①平成17年12月に制定された福岡県新型インフルエンザ対応指針

に基づき、状況に応じ、他の災害と同様の配備体制をとっていききたいと考えています。

その対策の中心は国・県になりますが、町としても糟屋保健福祉環境事務所との連携のもと、地域住民が混乱しないように必要な情報を的確に提供するように努めます。

②備えは次亜塩素酸系の消毒液及び消毒用アルコール、ゴム手袋があり、今後はマスクなどの備蓄も検討します。

③糟屋地区保健危機管理会議が、粕屋医師会、薬剤師会、消防署、行政などで構成され、国・県の動向及び最新の情報の収集に努めています。

④万が一に備え、事案発生後の報告連絡系統や関係機関との連携マニュアルの確認を行っており、必要に応じて糟屋保健福祉環境事務

所と協議しながら学校閉鎖、学級閉鎖など迅速に対応していきます。

## 町民栄誉賞条例を 考えては

町長『前向きに十分検討』

問

最近の景気不安、政治不信の中、心が躍り、夢が広がる篠栗町出身のスポーツ選手が2人います。

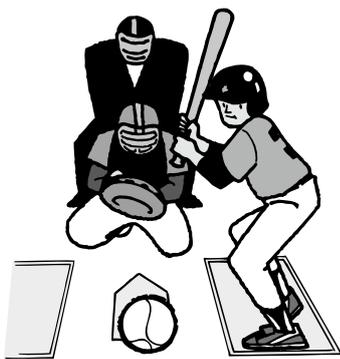
輝かしい2年連続ホームラン王獲得、北京オリンピック出場のプロ野球選手、そして

先日九州一周駅伝で福岡県チームの主将として出場、最終日の大逆転優勝に活躍した陸上選手です。

2人は郷土の誇りで、夢と希望を与えてくれる存在です。スポーツ・文化などの分野で業績を称える町民栄誉賞条例を制定されてはいかがですか。

答

町民栄誉賞を制定するためには、明確な表彰基準が必要で、それもかなり広範な基準作りが必要だと思えます。他自治体の例を調査・参考にするなど、よく検討する時間が必要です。町民が納得する表彰制度を前向きに十分検討します。



荒牧 泰範



# 保育園から幼稚園へ 通園はどうか

町長『具体化の予定はありません』

問

文科省と厚労省の一認定こども園」制度がスタートし、わが町でも4パターン中「地域裁量型」による2件の事業認定がなされており

ます。町ではこのところ幼保一元化の声がすっかり鳴りをひそめておりますが、現在の進捗状況をお尋ねします。

また、国が示すような同一施設での事業展開は、わが町では用地や建設費等の問題で難しいので、テストケースとして、栗の子保育園の子供のうち4・5歳児について、北勢門幼稚園へ幼児教育を受けさせるために通園させてはどうか。

就学前教育を受けさせたいが家庭の事情で保育園を選択する方も多いと聞きます。希望者には実現していただきたいのですが、いかがでしょうか。

答

幼保一元化については平成17年度に総合モデル事業が1年間限定で実施されました。その評価委員会で親の就労の有無・形態等で区別しないことが望ましいとされました。これを踏まえて法整備され、認定こども園へと一応の制度的な完成を見ております。

ご提案の件は今年3月に保育所保育方針が改訂され、この中で幼稚園教育要領と同様の保育をすることが明記され、平成21年度から



北勢門幼稚園

## 徴収率が低すぎないか

町長『長い目で見ていただきたい、努力していく』

問

ほぼ共通となります。したがって両者の指導内容は保育時間以外には違いがなく

答

る予定はありません。保育園の教育部門強化は考えさせていただきます。

19年度の決算資料を見ますと、町税・国民健康保険税の徴収率は現年・滞納それぞれ90・16%と64・72%で共に糟屋管内の最下位です。

問

徴収率を管内平均まで上げることが出来れば、現年度分だけ見ても、合計4300万円ほど実質歳入増となり、結構大きな事業を行うことが出来ますが、どうお考えかお尋ねします。

ご指摘の通り低い現状です。ここ数年滞納整理をより厳しくし、預金・生命保険・不動産等があれば差し押さえをし税金に充当しています。その数は年200件を超えています。

すぐに成果は出ませんが、決算で少しずつ改善の傾向が見られますので、長い目で見ていただいて、地区内平均にまでは持っていきたいと思っております。

また、困窮者にはきめ細かい対応をとることですが、請求権を放棄することは、慎重にならざるを得ません。いろいろ検討し、ご意見を賜りながら、徴収率を上げる努力をしていきます。

今後は年次ごとに徴収率目標を事前にかかげ、結果も公表します。

また、特に徴収率が低い累積滞納分については十分調査し、正直者がバカを見るようなことがないように手立てを講じ、本当に困っておられる方には納税の公平性を確保しつつ、きめ細かい対応をしていくべきと思いますが、いかがでしょうか。

不況の折、徴収が難しいのは分かりますが、平均値位にはすべきだと思います。

# 大楠 英志



## お互いに顔の見える まちづくりとは

町長『小学校区やボランティア連携で』

問

選挙のマニフェストで『校区ごとのまちづくりで互いに顔の見える地域を』について質問します。

①「学びあい支えあい地域活性化推進事業」は町内3小学校区において、積極的に取り組まれ多大な成果を挙げられています。更なる事業進展とありますが尋ねます。

②「まちづくり交付金事業」の詳細を尋ねます。

③「ボランティア活動の連携を強化して厚みのある活動を」について構想を尋ねます。

答

①文部科学省の事業として住民がボランティアや家族参加の活動を通じて、住民同士が支えあう地域のぎざなづくりを推進しています。

登下校の見守りや文化、スポーツの指導等、実情に合わせ取り組み

を実施しています。参加のボランティアは450名にもなります。

この事業により子どもたちや、地域の人々の和が広がり相互理解が進んで、地域の子どもは地域で育てる認識も生まれつつあります。

20年度からは町も補助金を計上して、更に継続していきます。

②この事業は地域をより活性化させるための新たな事業で、町税の約1%を限度に住民代表を中心とした審査会で事業内容の検討をして、おおむね100%を補助します。

町民で行政区に未加入の方々も含めて、校区全体で特色ある協働のまちづくりに取り組むことに充てます。

先進自治体の事例を勉強して22年度からスタートできるよう考えています。

③ボランティア団体は社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会・森林整備・学校を中心

とするボランティアなど数多くあります。団体間の連携・連絡調整などはなく、それぞれが独自に活動をしているのが現状です。

ボランティアセンターとして位置付け、コーディネートや補助員を常勤させて、ボランティア活動全体を活性化させるよう検討しています。

## 森林セラピー基地の スケジュールは

町長『22年4月オープン』

問

選挙のマニフェストで、「環境・観光を意識したまちづくりの推進」について、

①セラピー基地の認定はいつになりますか。今後のスケジュールを尋ねます。

②「観光協会や関係団体と連携して、健康の里をアピール」について概要を尋ねます。

③「温室効果ガス排出削減のための町民運動をスタート」について説明を求めます。

答

①21年3月に認定の段取りとなつていますが、認定後1年間かけて案内板、パンフレットの作成や観光協会など関係方面との調整を経て、平成22年4月にグランドオープンすることで進めています。

②認定されますとブランドが追加されるわけで、農林業、商工団体等と推進委員会を設置し企画していきます。

福岡都市圏230万人、九州・全国へと

心と体のいやしの保養・滞在型観光を進めていければと思います。

③篠栗町は7割の山を持つ二酸化炭素吸収基地として資格を持っています。こうした立地を意識して温室効果ガス削減を考える篠栗町になるべきと思います。今後具体的な策を提示します。

その他、「農業自給率アップを目指す」を質問しました。



基地認定のための生体実験

村嶋 秀樹



# まちづくり交付金事業とは

町長『地域のつながりや行政参加の高まりを期待』

問

町長選挙のマニフェストで、まちづくり交付金事業の創設を言われています。

① 交付対象はどのですか。

② どのような事業に交付しますか。

③ 交付手続きはどのですか。

④ 交付額や交付割合はどのですか。

⑤ 事業の最終目標は何ですか。

答

① 宗教・政治・営利を目的としない、地域コミュニティの活性化や特色あるまちづくりをめざす団体です。行政区・校区ごとの住民自治組織・ボランティア団体・NPO団体・教育文化スポーツ団体・商業農業関係団体などです。

② 住民自ら参加して汗をかく事業です。子育てや防犯の講演会・

地域パトロール・広場の除草など環境整備・野菜作り体験・地域の歴史を子どもたちに教える事業など幅広いものです。

③ 行政の審査ではなく、住民代表を中心に審査と活動終了時に評価する組織が必要です。

④ 当初1千万円ほどの枠で、事業を審査し交付します。住民代表の審査会で上限額や採択基準をつくります。

⑤ 日本は高度経済成長時代から、それまで地域協力でしたことが行政サービスに変わり、膨らんできました。その中で地域のつながり・協力体制・助け合いが薄らぎ、地域力が低下しています。この地域力を復活させ、顔の見える地域づくりが必要です。事業で地域のつながりや行政へ参加意識の高まりを期待しています。

## まちづくり基本条例は

総務課付課長『まちづくり活動の中から住民主導で』

問

20年4月から総務課を中心に、まちづくり基本条例づくりに取り組んでいます。

① この条例の基本的な性格は、町の憲法の位置づけですか。

② 基本的な内容はどのですか。情報共有・住民参画・協働・常設型住民投票制度は盛り込むのですか。

議会の条項も書き込むべきで、それは本来議会との協働で検討すべきです。

審議会委員への公募参加やパブリックコメントも盛り込むべきです。作成過程でも町民提案を反映するため策定委員の公募も行うべきです。

答

【町長】① 2000年に地方分権一括法が施行され、町のことば町が決める仕組みに変わってきています。住民自治や協働のまちづくりをめざすわが町では、役場だけで決めるのはいけません。

今後は政策決定段階に多くの住民が参加し、意思決定にかかわることが不可欠です。この住民と行政の約束、まちづくりの共通ルールがまちづくり基本条例です。最高規範性を持つ町の憲法です。

【総務課付課長】

② 当初3名の研究チームでしたが、まちづくり基本条例をめざすなら多くの役場職員を意識高揚が不可欠と職員20名で勉強会を10回開催しました。勉強会の結論は、今すぐ行政主導で条例制定に取りかかるのではなく、具体的なまちづくり活動を通じ、地域のリーダーと方向を話しながら住民主導でつくることです。まずは、まちづくり交付金事業を実施します。

指摘の項目は関係する住民の皆様と今後検討します。どれもが条例の骨格をなすと考えます。



阿高 紀幸



## 廃棄物収集業者の見直しと 事業系の導入は

町長 『慎重に検討したい』  
『導入を検討』

問

我が町はこれまでごみ収集業者を1社だけに委託していますが、糟屋地区を調べると、他の7市町はすべて数社に委託しています。

財政が厳しい状況であるならば、企業競争原理を取り入れ、コスト削減を図るべきだと思います。

篠栗町だけ1社委託の根拠と理由はあるのですか。

事業系ごみ収集の導入についてですが、糟屋地区8市町の中で、篠栗町を除く7市町が導入しています。我が町だけが導入しておらず、コスト面からすると大きな問題です。

行政コスト削減のため、早急に比較検討を十分に行い、導入を図るべきと思いますが、どうですか。

答

本町のごみ収集は、1社に委託しています。理由は、平成6年の

合特法に関する協定書

で、し尿収集業務の代替として塵芥業務をあ

てることが結んであり、それを遵守しています。

また廃掃法施行令の中に委託基準として、委託料が受託業務に足り

る額との協定がありま

す。郡内清掃業者と各

市町で協議をし、郡統一

価格を決定し運用して

います。業者の複数化は、慎重に検討し改善すべき点は改善したいと思

問

町長 『協定書・覚書を遵守』

## クリーンパークの 枠組みは

問

篠栗町にごみ処理施設が建設・運営できたのは、若杉・尾仲・乙

犬地区の深い理解と協

力があつたからこそで

す。しかし志免町の議員

さんと執行部の間に誤

解があり、協力を支

答

地元の3地区に対し

ましては、深く感謝の

意を表します。

粕屋5町のごみ処理

に関する覚書で、宇美

町及び志免町は可燃物

の処理に関する事務を

託関係に当たり、両町

が組合の構成員となる

ことはあり得ないので

す。

当然この覚書は、志

免町執行部及び議員の

方々も認識している

と思います。両町から

の加入要請が過去2度



クリーンパークわかすぎ (ゴミ処理場)

草場 謙次



## 防犯灯の設置を

町長 『要望に答えている』

問

新聞などの報道において、痴漢、ひったくり、通り魔事件などの痛ましい犯罪が多発しています。このような事件は決まって暗い場所できちんと起きます。

区長さんより各組長さんに、防犯灯が必要な場所があれば付け出してくださいとの要請がありました。その後、要望が数ヶ所出されました。

しかし予算の都合上、基本的には一つの区に一年に一ヶ所しか付けることができないとのこと、後は来年に回されています。

町には防犯灯、街路灯の要望書が年間に何件出されていますか。各区より出された要望書の達成率はどれくらいですか。

各区より要望書が出され町が危険であると認めた場合は、予算がないからと後回しにするのは住民サービス観点から容認できま

せん。犯罪はいつでも起きるのか予測できません。一日も早く町から暗くて危険な場所を無くすように求めます。

答

18年度の要望件数は、防犯灯9件、街路灯18件で、これに対し実施件数は防犯灯9基、街路灯17基です。街路灯が1件だけ未消化です。

19年度は防犯灯11件、街路灯18件で、実施件数は防犯灯11基、街路灯20基で先年分も加えまして、1基増設しています。

防犯灯は、すべての要望箇所に設置していません。街路灯は、半数は老朽化による立て替えが必要で、1基あたりの単価が30万円を要することから、すべての要望に対応することが出来ない状況です。

まれに街路灯は設置すると、明る過ぎる、稲などへの生育障害などの問題もあり、設置

できない場合もあります。防犯灯と街路灯とは少し制度が異なり、次年度予算の作成時に検討します。

## カブトの森でカブトムシの飼育を

町長 『自然発生を待ちます』

問

カブトの森公園と名前がついています。カブトムシはほとんどいません。町にカブトムシについての問い合わせがあり、「公園にはカブトムシはいず、あるのはカブトムシの遊具だけです」と答えて

います。

篠栗町に住んでいる私達は、何か情けなく、恥ずかしい思いがします。

現在、社会教育課でカブトムシを丹精に育て、幼虫が欲しい方に無料であげているそうです。このままではもったいない気がします。

カブトの森公園と名前を付けてカブトムシがない、これでは町のイメージを損なうことになります。公園に簡単な小屋を建て飼育し成長していく姿を子供達に見せていく等してほしいと思います。

答

カブトの森公園は、造成中カブトの幼虫がたくさん出たことから名づけられました。

クヌギの苗木900本を植樹し、自然に繁殖するように努力しています。

カブトムシの飼育小屋の観察もさることながら、自然の中での採集もしくは自らの飼育が望ましいと思われ、クヌギ林にカブトムシが自然発生するのを待ちたいと思っています。



カブトムシ型の複合遊具

日本共産党  
永柄 邦彦



## 旧産炭地域の危険空き家撤去を

町長『県と協議し対応していく』

問

旧産炭地域の明治区では昨年6月、区長より防災上の大問題として「明治区空き家撤去」の要望書が出されています。粕屋中部消防署からも、危険な空き家として指摘されています。その後老朽化が進み、危険な箇所が2軒あります。

実は京都市でも危険な家屋が問題になり、市が代わって解体工事をする、いわゆる代執行を視野に入れた要綱づくりをしているところ

です。先月、県の土木事務所、建築指導課長を訪ね、危険家屋の現状を話ししましたところ、現場を調査し、所有者に必要な措置を取るよう勧告することです。ただし勧告しても、所有者が応じない場合は、市町村が対応することになっていきます。

町長は、明治区の説明会において、「空き家問題をなんとかしたい」と発言されましたが、

具体的な町長の見解を求めます。

答

先月、県の担当者より現場調査が実施されました。その結果、一部屋根の損傷等が確認されたため、建築基準法に基づき、所有者に事情聴取をしています。所有者は何らかの対策をするとの意向を示し、県としては、しばらく様子を見るところの報告がありました。

町としても、防災上、また防犯上の観点から県と足並みをそろえて対応していきたいと考えています。

また、産炭地域振興基金の活用につきましても、県に事情を説明しまして、たとえば代執行あるいは建築主事がない我が町でできるかどうか、いろいろな可能性を探り、広域地域振興部と協議をしていきます。

## 子どもを無保険から守るべきでは

町長『今後も短期保険証で対応』

問

親が国民健康保険を1年以上滞納すると、保険証を取り上げられ代わりに資格証明書が発行され無保険扱いとなります。保険証がないために子供たちが必要な医療を受けられないとすれば、見過ごせない問題です。

篠栗町では、11月末時点で資格証明書の発行は2世帯で、子供がいる世帯は幸いにゼロです。ただ9月末時点で国保料滞納世帯が1352軒だったのが、11月末は1645軒と22%増加しています。そのような中においても、子育てに医療は欠かせないものです。

今後18歳未満の子供がいる世帯には、資格証明書を発行しないよう強く求めるものです。町長の見解をお伺いします。

答

篠栗町では、生活状況に応じた具体的な納

付相談を行い、できるだけ国民健康保険税を納めていただき、それに応じた期間の短期保険証をお渡しするよう努めています。

今国会では、子供の心身ともに健やかな育成に資するため、この資格証明書にかかる国民健康保険法の改正が議論されています。

これらの動向を踏まえて、私どもの町も短期保険証で対応できるようにしていきます。

氏名	保険書ID
姓 名	氏 名
生 年 月 日	西 暦 西 暦 取 得 年 月 日
住 居 地	住 居 地
保 険 種 別	保 険 種 別
1 一般被保険者	2 国民健康保険
3 2の被保険者	

資 国民健康保険被保険者資格証明書	
交付年月日	交付
有効期限	まで
記号	資-25
番号	
氏 名	
生 年 月 日	
住 居 地	
保 険 種 別	4 0 0 5 5 6
交付する保険	国民健康保険
交付する保険	篠栗町

資格証明書

# 懸案の道路整備に 着工!!



## ① 町民体育館前交差点 (尾仲乙犬線道路改良工事)



工事費 2,118万円

工期 20年9月18日～  
21年3月27日 (予定)

町内の幹線道路は、東西方向は国道201号線や県道607号線がありますが、南北方向は幹線道路が不十分で、市街地内の道路整備が求められていました。

以前から道路拡張に伴う用地買収交渉を続け、地権者のご厚意で成立の運びとなり、今回20年度の工事が進められています。

①町民体育館前交差点、②役場前交差点、③篠栗中学校前の工事です。

特に町民体育館前交差点はいびつな交差点として知られており、事故が多発していた地点です。この改良整備によって危険度が激減することと思われます。次年度以降も整備が予定されています。

町内には578路線もの町道がありますが、幅員が6m以下の道路が多く、これから通学路を中心に歩道の設置と併せて整備を進めなければなりません。

### ③ 篠栗中学校前

(中町焼却場線道路改良工事)



工事費 1,771万円

工期 20年12月4日～  
21年3月27日 (予定)

### ② 役場前交差点

(下町若杉線道路改良工事)



工事費 1,759万円

工期 20年9月18日～  
21年3月27日 (予定)

## 読みやすい議会広報へ

### 県の議会広報研修会報告

昨年12月3日、福岡市博多区千代の県自治会館で町村議会広報研修会があり、篠栗町議会の広報委員も全員参加しました。県内ほとんどの町村から研修にきています。

講師は37年間も諸団体の広報や宣伝の企画・編集に携わられた芳野政明氏です。「編集・出版アドバイザー」の肩書きで、年間30回ほど広報研修会などの講師をされています。2008年から全国広報研修会の講師もつとめられています。

研修内容は、従来の総論から入り後で各町の広報を評する形ではなく、各広報を評しながら原則を述べる非常なわかりやすい話し方でした。居眠りする方もいません。篠栗町の議会広報もクリニック

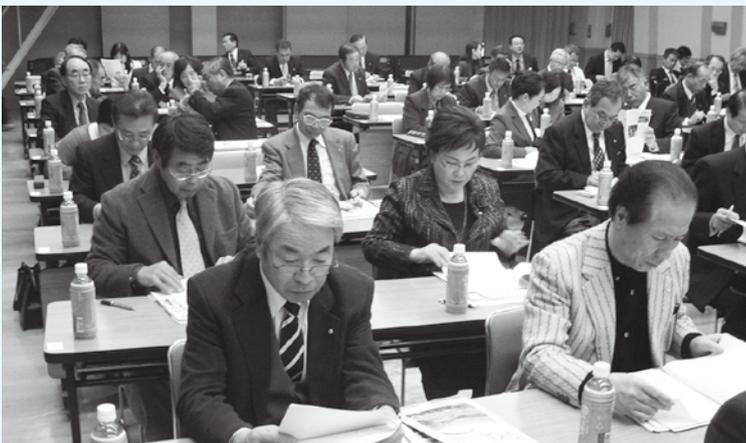
してもらい、たくさんの指摘をいただきました。

多くの町民の皆様にご覧いただくための広報に努力が必要とのことです。12月17日に広報委員会を開き、研修会の指摘を受けて以後の編集方針などを話し合いました。大きな変更点は、①表紙の見出しを内容の分かるものに、②大事な記事の見出しを大きく目立つように、③紙面に余裕を持たせ、写真なども大きく、④できれば全

ページカラー印刷へ、などです。

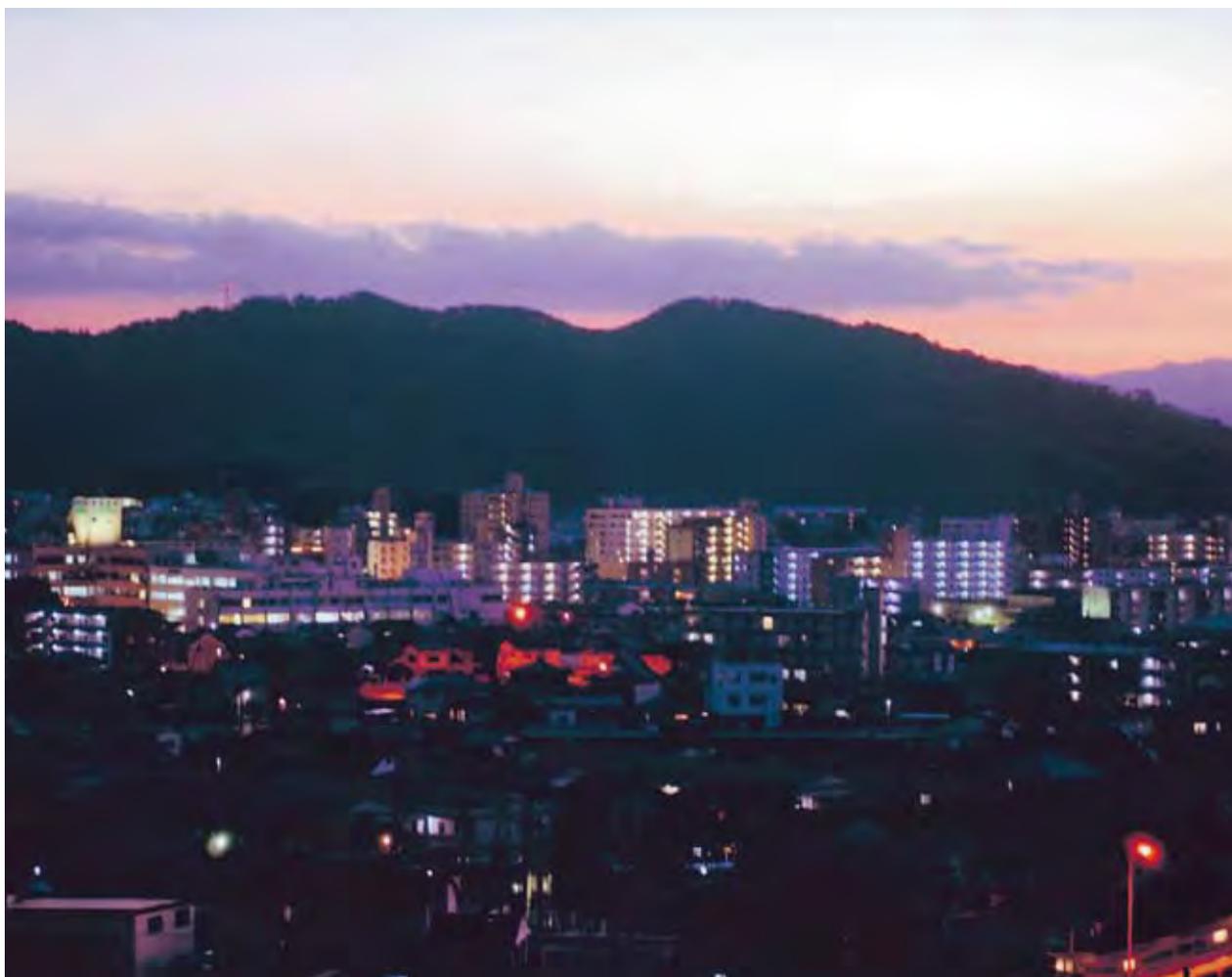
今号は時間もなくて変更点をあまり反映できていませんが、次号以降、できるだけ皆様に読んでいただける、読みやすい広報への改革をします。よろしくお願ひします。

(議会広報編集特別委員会  
委員長 村嶋秀樹)



# View of SASAGURI

## 篠栗の眺望



「表紙写真は、山の雪景色と街中の暮らしが見事に調和しています。自然と共存した篠栗の町並みは、他の地域に類を見ないすばらしい環境の町であることを自慢したいものです。

今年一年が篠栗町に住む皆さんにとって、いい年でありますようにとの気持ちを込め、元日に撮影しました。裏表紙は夜のしじまが

下りる頃の元日の夜景です。ゆっくりとした時の流れを感じさせ、一日の終わりを落ち着いたムードで醸し出しているようです。

篠栗町に乾杯！！

(写真とコメントは土井良泰氏)

### 篠栗町内の風景写真募集中!!

議会事務局までご連絡下さい ※採用された方に図書券進呈

#### 編集後記

深刻化する経済危機・雇用不安の中、2期目の三浦町政がスタートしました。財政難のおり、少子高齢化が進み福祉などの行政需要は拡大します。執行部・議会とも難しい町政の舵取りを強いられそうです。明るい展望が見える一年になることを切に願います。

#### 発行責任者

議長 今泉 正敏

#### 議会広報編集特別委員会

委員長	村嶋 秀樹
副委員長	永柄 邦彦
委員	後藤百合子
委員	草場 謙次
委員	大楠 英志
委員	松田 國守

### お知らせ

次回の3月定例議会は、3月6日からの予定です。一般質問は10日の予定です。お気軽に傍聴にお越しください。

●ぎかいだよりへのご意見・感想をお聞かせください。